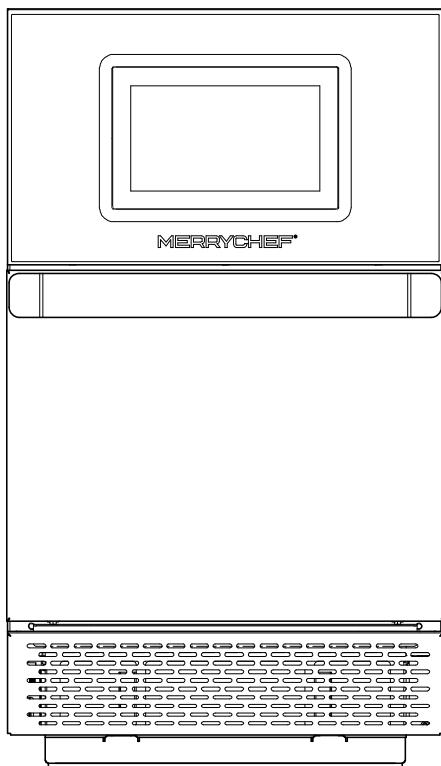


Merrychef®
マイクロウェーブ コンビネーション オーブン



取扱説明書

conneX® 12SP (50Hz)
conneX® 12SP (60Hz)
(業務用)



このたびは、当社のMerrychef®（マイクロウェーブ コンビネーション オーブン）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。

必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

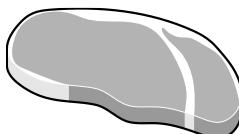
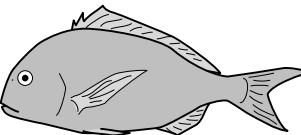
必ず守ってください

腐食性がある薬品などを加熱しないこと

本機は、食材の加熱調理や焼成用として設計されています。
工場や研究所で使用されるものとして設計していません。

生肉、生魚、タレ類など、高タンパク質の食材は熱風や、熱風+マイクロ波の調理をしないこと

調理中、油脂分が多く発生して、本機の故障の原因になります。

調理禁止の食材	熱風の調理	熱風の調理 + マイクロ波の調理
生肉 	 故障の原因になります	 故障の原因になります
生魚 	 故障の原因になります	 故障の原因になります
タレ類	 故障の原因になります	 故障の原因になります

熱風や、熱風+マイクロ波の調理をする際は、調理前に食材の余分な油脂分を取り除いておくこと

余分な油脂分があると、発火、発煙の原因になります。

揚げ物調理をしないこと

発火、発煙の原因になります。

アルコール類の加熱、アルコールを含ませた食材の調理はしないこと

発火、発煙の原因になります。

食材や飲料は、容器の蓋、栓などは外してから調理すること

容器が破裂してケガ、やけどをする恐れがあります。

皮付きの果物や野菜、ソーセージなどをマイクロ波を使った調理をするときは、調理前に皮に穴をあけておくこと

食材が破裂してケガ、やけどをする恐れがあります。

ゆで卵（殻付き、殻なし）は、マイクロ波の調理をしないこと

破裂してケガ、やけどをする恐れがあります。

液体をマイクロ波を使った調理をするときは、加熱前と加熱後にスプーンなどで液体をかき混ぜること

容器内底のほうが濃くなっていると、突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの恐れがあります。

庫内が空の状態で、熱風＋マイクロ波の調理をしないこと

空の容器もマイクロ波を使った調理をしないこと

本機の故障の原因になります。

ドアと本体の間に何か挟まった状態、ドアが完全に閉まっていない状態で、マイクロ波を使った調理をしないこと

マイクロ波の曝露の恐れがあります。

ドアやドアシールが破損、劣化している場合は、マイクロ波を使った調理をしないこと

マイクロ波の曝露の恐れがあります。

布類や衣類、機器類の乾燥に使用しないこと

発火、発煙の原因になります。

本機の故障の原因にもなります。

付属のクールダウンパンは調理に使用しないこと

クールダウンパンは、庫内の温度を下げるときに使用する器具です。

調理で使用されると、変形や破損の原因になります。

本機の故障の原因にもなります。

熱風や、熱風＋マイクロ波の調理をする場合、食材の包装は取り除いてから調理すること

調理により、ガラスや陶器の容器が破損したり、粉碎したりした場合、食材を食べずに破棄すること

破片混入の恐れがあり、ケガや事故の原因になります。

目 次

安全上のご注意	1 ~ 7
電源に関するご注意	8
各部の名称	9 • 10
本体	9
タッチパネル（メイン画面、フルサーブモード）	10
付属品	11
操作	12 ~ 31
電源を入れる	12 • 13
「レシピの作成」を使って調理とレシピの保存（フルサーブモード）	14 ~ 18
「クックブック」のレシピを使って調理（フルサーブモード）	19 • 20
「プレス&ゴー」のレシピを使って調理（フルサーブモード）	21 • 22
「予熱」を使って庫内の予熱をおこなう	23
「クイックサーブ」のレシピを使って調理（クイックサーブモード）	24 • 25
「プレス&ゴー」のレシピを使って調理（プレス&ゴーモード）	26 • 27
手動モードで調理	28 • 29
「クックブック」や「プレス&ゴー」に保存したレシピの編集	30
「クックブック」や「プレス&ゴー」に保存したレシピの削除	31

ユーザー設定を変更する	32 ~ 60
ユーザー設定画面を表示させる	32
設定項目	33
ファームウェアの更新、アップデートと、各データのバックアップ	34 • 35
モードの切替え	36 • 37
予熱設定	38 • 39
言語の切替え	40
日付と時刻の設定	41 • 42
スケジューラーの設定（タイマー機能）	43 • 44
表示の設定	45 • 46
音の設定	47 • 48
メディアライブラリの設定	49 ~ 51
単位切替え	52
Statistics（統計）	53 • 54
パスワードの設定変更	55 • 56
ネットワーク接続の設定	57 • 58
清掃機能の作業指示画面表示の設定	59 • 60
お手入れ	61 ~ 66
故障の診断と手当	67 • 68
故障かなと思ったら	67 • 68
据付けについて	69 ~ 72
仕様	73
付属品	74
保証書（別添付）について/消耗部品/補修用性能部品の保有期間	75

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警 告



専門業者

据付けは、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線は、必ずアース端子に接続してください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用ブレーカ

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



フード設備

火災報知器やスプリンクラーの下に本機を設置しないこと

本機から排気される、またはドアを開けた際に排出される熱気や蒸気で、火災報知機やスプリンクラーが作動する原因になります。

フード（ダクト）を設備していただくことをお勧めします。



専用ブレーカ切

本機の電源コードを専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカもしくは、それと同等の設備に接続前に、漏電遮断機付きサーキットブレーカもしくは、それと同等の設備が『OFF(切)』になっているか確認すること

漏電遮断機付きサーキットブレーカもしくは、それと同等の設備が『ON(入)』の状態で、電源コードの接続作業をおこなった場合、感電する恐れがあります。



専用ブレーカ切

本機の電源コードの接続をやり直すときは、本機専用ブレーカを「OFF(切)」にしてからおこなうこと

本機専用ブレーカが『ON(入)』になっていますと、感電や原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体や電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本機には直接水や液体、洗浄剤などをかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 警 告



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグ（電源プラグ使用の場合）が破損している場合は使用しないこと

そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触ると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなど（電源プラグ使用の場合）の電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作したりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用ブレーカ切

異常時は、電源スイッチを押して機械を止め、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用ブレーカを『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用しないこと

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、引火爆発し危険です。



禁止

ドアにぶら下がったり、乗ったりしないこと

製品が転倒した場合、ケガの原因になります。



禁止

ドアやドアシールが破損している場合は、本機を使用せずに、お買上げ店に修理を依頼すること

ドアやドアシールが破損している状態で、使用されますと、マイクロ波の曝露の原因になります。



禁止

本機は、食材の調理以外に使用しないこと

食材の調理以外に使用されますと、火災、爆発、マイクロ波の曝露などの原因になります。

⚠ 警 告



禁止

腐食性の液体やガスを庫内で使用しないこと

発火、発煙の原因になります。



禁止

揚げ物調理をしないこと

アルコールの加熱、またはアルコールを含ませた食材の調理はしないこと

発火、発煙の原因になります。



禁止

ドアと本体の間に何か挟まった状態、ドアが完全に閉まっていない状態で、マイクロ波を使った調理をしないこと

マイクロ波の曝露の恐れがあります。



禁止

布類や衣類、機器類の乾燥に使用しないこと

発火、発煙の原因になります。

本機の故障の原因にもなります。



禁止

アルミ製の包装に入ったレトルト食品、アルミ箔で包んだ食品、脱酸素剤が入った袋はマイクロ波を使った調理をしないこと

発火、発煙の原因になります。



針金取り外す

紙袋やビニール袋などの口部分を針金で止めている場合は、針金を取り外してから調理すること

発火、発煙の原因になります。



レンジ対応容器

マイクロ波を使った調理をおこなう場合、食材を入れる容器は電子レンジ対応のものを使うこと

電子レンジ対応以外の容器を使用されると、容器破損の原因になります。



接触禁止

使用中は、本機の外側も高温になるので、ドアの取手やタッチパネル以外さわらないこと

高温になっている部分に触ると、やけどの原因になります。



徐々に開ける

調理終了後、ドアを開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること

ドアを開けたとき、熱気が大量に流出することはあります。安全のためにドアは一気に開けないでください。

熱気がかかりますと、やけどの原因になります。



素手禁止

調理完了直後の調理プレートや容器などは、素手で持たないこと

調理完了直後の食材や調理プレート、容器は、高温になっているため、素手で持ちますとやけどします。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災、マイクロ波の曝露などの原因になります。

⚠ 警 告



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造されると、ショート、感電、火災、マイクロ波の曝露の原因になります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

電気の配線に不備があると、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



周囲空ける

本機は、隣接面から後面（電気部品側）は50mm以上、左右側面は50mm以上離すこと
本機の上方は、100mm以上スペースを空けること

熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下した場合、ケガの原因になります。

水がこぼれて機械内部に入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを使用の場合、電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



挿入禁止

庫内ファンが回転しているときは、ファンカバーの隙間から、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。

庫内ファンや箸、スプーンなどが破損し、食材などに入った場合、異物混入の原因になります。



指挟まない

ドアを閉めるときは、指を挟まないこと

ケガの原因になります。

⚠ 注意



可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、発火の原因になります。



タッチパネルは、先の尖ったものや、硬いもので押さないこと

タッチパネルを破損しますと、感電や漏電の原因になります。



マイクロ波を使って卵を調理するときは、殻を割り、卵をほぐすこと マイクロ波を使ってゆで卵や目玉焼きの調理をおこなわないこと

卵が破裂して、ケガ、やけどの原因になります。



マイクロ波を使って殻や膜のある食材を調理するときは、あらかじめ割れ目や、切れ目を入れておくこと

殻や膜が付いた状態で調理されると、破裂して、ケガ、やけどの原因になります。



マイクロ波を使う調理では、蓋や栓の付いた容器は、使用しないこと あらかじめ蓋や栓を取り外しておくこと

蓋や栓が付いた状態で調理されると、破裂して、ケガ、やけどの原因になります。



マイクロ波を使う調理では、食材を加熱しすぎないこと

飲料などの液体や、油脂分の多い液体は、加熱しすぎると、調理中や調理後に突然飛び散る場合があり、やけどの原因になります。



液体をマイクロ波を使って調理するときは、加熱前と加熱後によくかき混ぜること

液体は、容器内底のほうが濃くなっていると、調理中や調理後に突然飛び散る場合があり、やけどの原因になります。



調理中、庫内から煙が出ているときは、ドアを開けずに、本機専用ブレーカーを『OFF(切)』にして、 すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



使用後は、庫内のお手入れをおこなうこと

雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

庫内お手入れ



庫内が熱い状態のときは、庫内各部位に直接触れないこと

庫内に触れた場合、やけどの原因になります。



終業後は、ドアを開けたままにしないこと

ネズミや虫などが入り込みますと、異物混入や健康障害の原因になります。

⚠ 注意



専用ブレーカ切

お手入れのときや、点検のときは、必ず本機専用ブレーカを『OFF(切)』にするか、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）こと

誤って操作部に触れた場合、ケガややけどの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



冷めるまで待つ

お手入れのときや、点検のときは、庫内が触ることができる温度まで冷めるのを待つこと

熱い状態で触れた場合、やけどの原因になります。



保護具着用

「オーブンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」を取り扱うときは、ゴム手袋、保護メガネを着用すること

手にかかったりしますと、手荒れの原因になります。
目に入った場合、目を傷める原因になります。



接触禁止

「オーブンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。



洗浄剤保管

「オーブンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」は、子供の手の届かないところに保管すること

誤って口に入れたり、飲み込まれると、健康障害の原因になります。



お手入れと乾燥

調理プレートなど直接食材に触れる部品は、ご使用後、洗浄剤を使ってお手入れし、お手入れ後は、洗浄剤の成分を完全に拭き取ってから十分乾燥させること

付着した食材が残っていたり、水分が残っていたりしますと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

洗浄剤の成分が残っていた場合、食材に混入する原因なり、健康障害の原因にもなります。



専用ブレーカ切

ご使用後は、安全のため本機専用ブレーカを『OFF(切)』にするか、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）こと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

電波に関するご注意

メモ

本機は電気通信事業者の電気通信回線設備に直接接続して使用することはできません。

本製品に内蔵されている無線モジュールは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

次の事項をおこなうと法律で罰せられことがあります。

- ・本製品を分解/改造すること。

本製品の使用周波数帯は、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ・本製品の無線機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに使用を停止し、お買上げ店にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ・その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときはお買上げ店へお問い合わせください。

無線LAN接続においては、無線LAN(IEEE802.11n/2.4GHz 帯、またはIEEE802.11g、IEEE802.11b)、その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。

本製品の無線LAN機能は、すべての無線LAN機器との接続・動作を保証するものではありません。

無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。

Bluetoothと無線LANは同じ2.4GHz帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

無線LANの接続設定をするときは周辺のアクセスポイントが自動的に検索されるため、利用する権限のないアクセスポイントが表示されることがあります。利用する権限のないアクセスポイントには接続しないでください。接続した場合、不正アクセスとみなされることがあります。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式 (IEEE802.11b) DS-SS方式/OFDM方式 (IEEE802.11g) OFDM方式 (IEEE802.11n)
周波数変更の可否	2.4GHz全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。



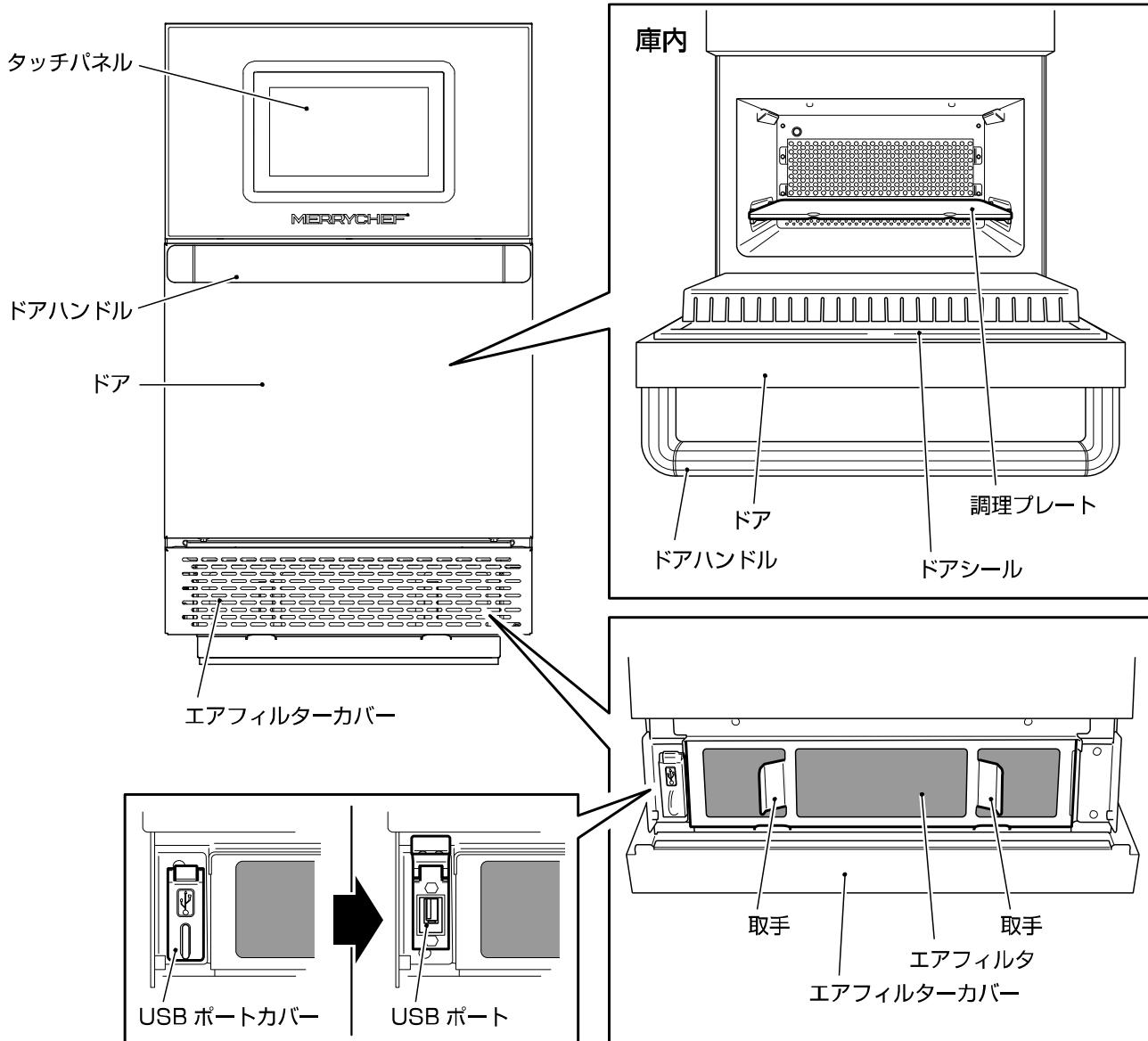
R 003-160104

本機を無線LANに接続する、または非接続にするときは、お買上げ店にご連絡ください。

各部の名称

本機は、熱風やマイクロ波を使って調理する機械です。

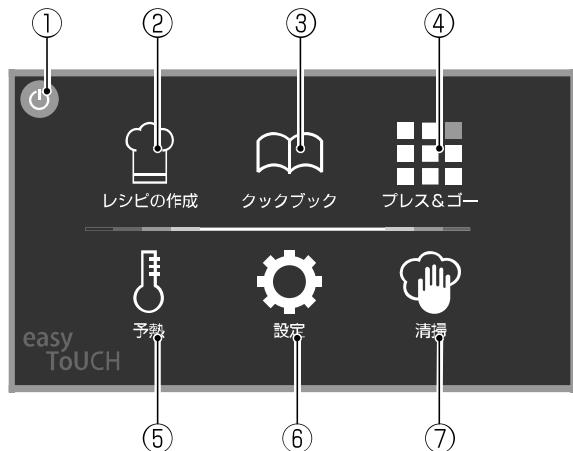
本体



お願い

タッチパネルは、強い力をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。
タッチパネルを破損する原因になります。

タッチパネル（メイン画面、フルサーブモード）



①電源OFF

本機を電源OFFの状態にします。
画面に表示される清掃手順のとおりに各部の
お手入れをおこなってください。

②『レシピの作成』

調理内容を設定します。
設定した調理内容は、レシピとして「クックブック」や「プレス&ゴー」に保存することができます。
「『レシピの作成』を使って調理とレシピの保存(フルサーブモード)」(14ページ)を参照して
ください。

③『クックブック』

本機に保存されたレシピを使用して調理をおこなうことができます。
「『クックブック』のレシピを使って調理(フルサーブモード)」(19ページ)を参照して
ください。

④『プレス&ゴー』

本機に保存されたレシピの中でもお気に入り、
または使用頻度の高いレシピを保存しておく
と便利です。

⑤『予熱』

調理をおこなう前に、予熱で庫内温度をレシピ
にあった温度にすることができます。
庫内の温度が、レシピにあっていない場合、レ
シピの操作を受け付けません。
「『予熱』を使って庫内の予熱をおこなう」(23
ページ)を参照してください。

⑥『設定』

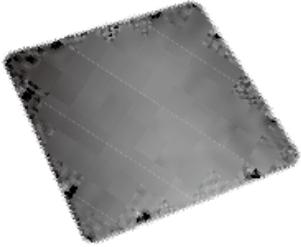
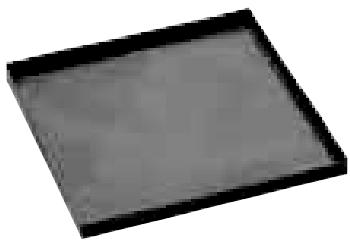
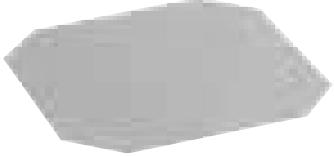
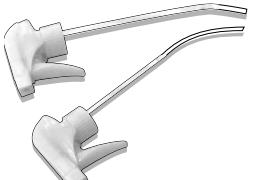
ユーザー設定を変更することができます。
「ユーザー設定を変更する」(32ページ)を
参照してください。

⑦『清掃』

「①電源OFF」と同じ機能になります。

付属品

付属品

		
調理プレート 1枚 部品番号 52958111	クールダウンパン 1個 部品番号 52958001	ソリッドバスケット(黒色) 1個 部品番号 52958131
		
ガードパドル 1個 部品番号 52958121	クッキングライナー 1枚 部品番号 52958016	スプレーヤー 2本 部品番号 53020041
		
オーブンクリーナー 1本 部品番号 53020013	焦げ付き防止剤 1本 部品番号 53020021	保護メガネ 1個 部品番号 90210033
		
保護手袋 1セット 部品番号 52957002	取扱説明書(本書) 1冊	

保証書 1部

操作

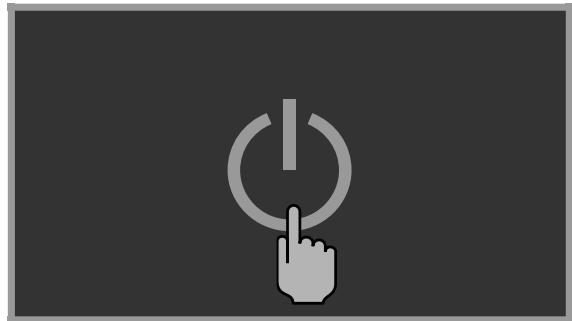
電源を入れる

1. 本機専用ブレーカを『ON(入)』にしてください

約1分18秒後、画面に『』アイコンが表示されます。

2. 画面の『』をタップしてください

画面に「MERRYCHEF」のロゴが表示された後、「予熱選択」画面が表示されます。



3. 使用する予熱をタップしてください

庫内の予熱が開始され、画面に予熱の進行状況が表示されます。



庫内の温度が、設定された予熱の温度に到達すると、メイン画面が表示されます。



メイン画面について

表示されるメイン画面は、設定しているモードによって変わります。

モードは、「フルサーブモード」、「クックサーブモード」、「プレス&ゴーモード」、「手動モード」があります。

モードを変更する場合は、「モードの切替え」（36ページ）を参照してください。

各モードのメイン画面

フルサーブモードの画面

工場出荷時、メイン画面はフルサーブモードの設定になっています。

以下の機能を使用することができます。

- 「レシピの作成」 → 14ページ参照
- 「クックブック」 → 19ページ参照
- 「プレス&ゴー」 → 21ページ参照
- 「予熱」 → 23ページ参照
- 「設定」
- 「清掃」



クックサーブモードの画面

「クックブック」の内容が表示されます。

「クックブック」以外の機能を使用しない場合に便利です。

内容はフルサーブモードで、クックブックを選択した場合と同じです。

→ 25ページ参照



プレス&ゴーモードの画面

「プレス&ゴー」の内容が表示されます。

「プレス&ゴー」以外の機能を使用しない場合に便利です。

内容はフルサーブモードで、プレス&ゴーを選択した場合と同じです。

→ 24ページ参照



手動モードの画面

毎回、「調理温度」「調理時間」「風量 (%)」「マイクロ波の量 (%)」を設定して調理をおこないます。

設定した内容は、保存することはできません。

→ 28ページ参照



「レシピの作成」を使って調理とレシピの保存(フルサーブモード)

ここでは、フルサーブモードの「レシピの作成」を使って調理をおこなう方法について説明します。

「レシピの作成」で作成した調理内容は、「クックブック」や「プレス＆ゴー」に調理名をつけて保存することができます。

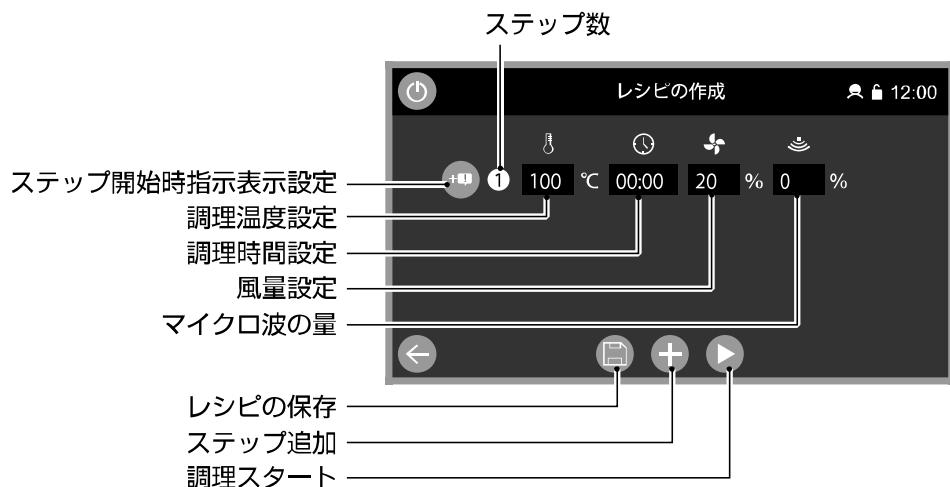
「レシピの作成」で調理テストをおこなってから、最終「クックブック」や「プレス＆ゴー」に保存するなどして使用すると便利です。

1. フルサーブモードのメイン画面で『レシピの作成』アイコンをタップしてください

設定画面が表示されます。



2. 調理内容を設定してください



項目	内容
調理温度設定	設定範囲 オフ、100°C ~ 275°C お願い 設定する調理温度は、現在の庫内の予熱温度と同じか確認してください。 調理温度と、予熱温度に差がある場合は、調理前に「予熱」を変更して庫内の温度をあわせておいてください。 設定した調理温度と、庫内の予熱温度に差がある場合、「▶」をタップしてもアラームを表示して調理を開始しません。
調理時間設定	単位 分：秒 設定範囲 00:00 (動作しない)、 00:01 (1秒) ~ 10:00 (10分)

項目	内容
風量設定	庫内ファンの風量 設定範囲 10 ~ 100%
マイクロ波の量	マイクロ波の照射率（回数） 設定範囲 0(OFF)、5 ~ 100%

ステップを追加する場合

ステップを追加する場合は、画面下の『+』をタップすると、次のステップが追加されます。



ステップ1と同様に各内容を設定してください。



ステップ開始時指示の表示を設定

お好みで、ステップ開始時指示の表示をさせることができます。

例えば、「野菜を追加投入する」

この機能を設定しておくと、調理動作中、そのステップが始まる前に指示が表示され、『✓』をクリックするまでステップの調理を開始しません。

ステップ開始時指示の表示は、ステップ毎に設定することができます。

『+』をタップすると、画面に入力枠が表示されます。



「ステップ開始時指示表示」の枠部分をタップしてください。
設定画面が表示されます。



ステップ指示を入力してください。
写真や画像を貼付することもできます。
写真や画像を貼付する場合は、メディアライブラリに保存されている写真や画像から選択してください。
『』をタップして確定してください。



3. 調理を開始してください

お願い

調理を開始する前に、現在の庫内の温度が、レシピで設定している温度まで上がっていることを確認してください。
庫内の温度（予熱）がレシピの調理温度まで上がってない場合、『』をタップしてもアラームを表示して調理を開始しません。

『』をタップすると調理が開始されます。



右のような画面が表示された場合は、庫内の食材の有無を確認してから調理を開始してください。

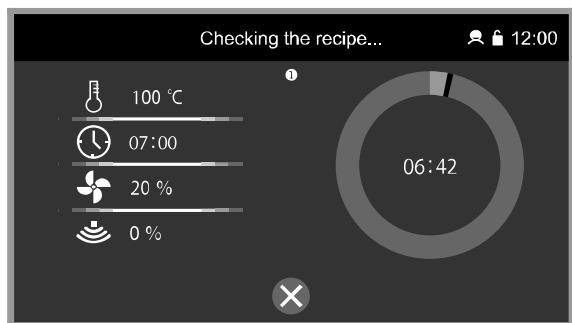


調理中は、右のようなカウントダウンタイマーが画面に表示されます。

メモ

ステップにコメントを設定している場合は、ステップが始まる前にアラームが鳴り、コメントが表示されます。

コメントが表示されたときは、コメントにしたがった後、『』をタップして調理を継続してください。

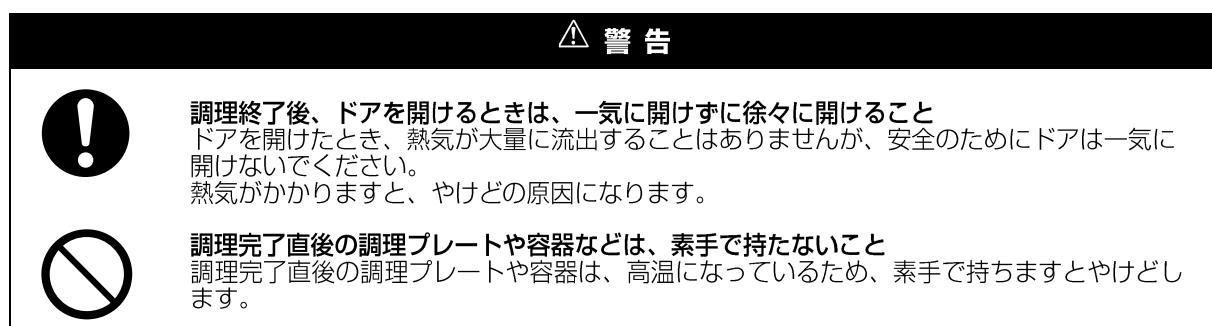


調理が完了するとアラームが鳴ります。

『』をタップしてアラームを止めてください。



4. 庫内から食材を取り出してください



5. 作成したレシピを「クックブック」や「プレス&ゴー」に保存する場合

作成したレシピを「クックブック」に保存する場合は、『』をタップしてください。

設定画面が表示されます。



各項目を入力、設定してください。
タイトルは必ず入力してください。



項目	内容
タイトルを入力します ※必須	レシピの名前です。 必ず入力してください。 入力していないとレシピを保存することができません。
写真を選択します	レシピに写真や画像データを貼付することができます。 本機のフォトライブラリに保存されている写真や画像データを使用します。 「メディアライブラリの設定」(49ページ) 参照
食材の状態	調理する食材の状態を選択します。 周囲 → 常温の食材 チルド → 冷蔵の食材 凍結 → 冷凍の食材
数量 / 分量	食材の数量
重さ / 各	食材の質量

『』をタップして確定してください。
保存先の選択画面が表示されます。



保存先をタップして選択（複数選択可能）してください。

- All Recipes (クックブック)
- プレス&ゴー
- カテゴリーリフォルダ
- クックブック内、レシピのカテゴリーリフォルダ

『』をタップして保存してください。



「レシピが保存されました」の画面が表示された後、メイン画面に戻ります。

レシピの保存は完了です。



「クックブック」のレシピを使って調理（フルサーブモード）

ここでは、「クックブック」にあらかじめ保存されているレシピを使用して調理する方法について説明します

1. 本機のドアを開けて食材を庫内に入れてください

食材を入れた後、ドアをしっかりと閉めてください。

2. フルサーブモードのメイン画面で『クックブック』アイコンをタップしてください

「クックブック」画面が表示されます。

「クックブック」に保存されているレシピのカテゴリーと、レシピの一覧が表示されます。



3. 使用するレシピをタップして調理を開始してください

画面は、指で上下方向にスクロールすることができます。



右のような画面が表示された場合は、庫内の食材の有無を確認してから調理を開始してください。



調理中は、右のようなカウントダウンタイマーが画面に表示されます。



ステップにコメントを設定している場合は、ステップが始まる前にアラームが鳴り、コメントが表示されます。

コメントが表示されたときは、コメントにしたがった後、『』をタップして調理を継続してください。

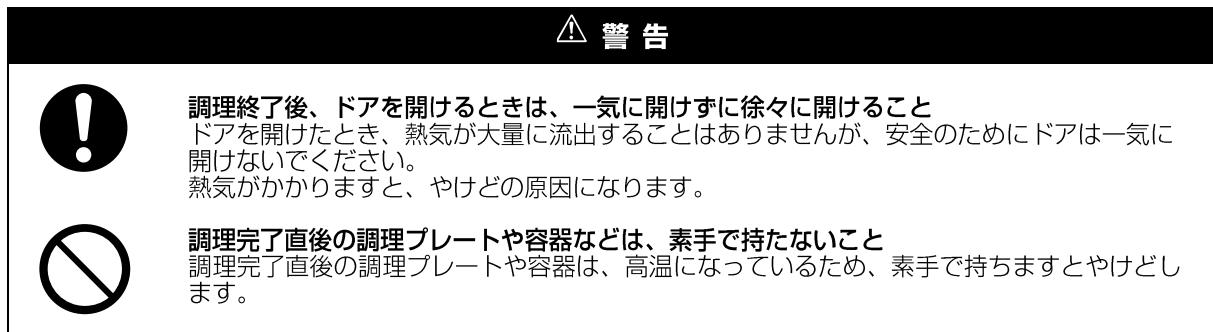


調理が完了するとアラームが鳴ります。

『』をタップしてアラームを止めてください。



4. ドアを開けて食材を取り出してください



「プレス&ゴー」のレシピを使って調理（フルサーブモード）

ここでは、「プレス&ゴー」にあらかじめ保存されているレシピを使用して調理する方法について説明します

1. 本機のドアを開けて食材を庫内に入れてください

食材を入れた後、ドアをしっかりと閉めてください。

2. フルサーブモードの場合は、メイン画面の『プレス&ゴー』アイコンをタップしてください

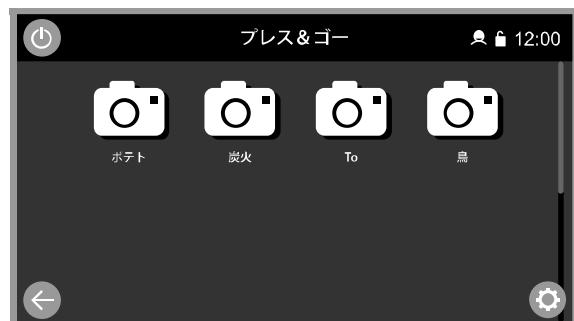
「プレス&ゴー」画面が表示されます。

登録されているレシピ一覧の画面が表示されます。



3. 使用するレシピをタップして調理を開始してください

画面は、指で上下方向にスクロールすることができます。



右のような画面が表示された場合は、庫内の食材の有無を確認してから調理を開始してください。



調理中は、右のようなカウントダウンタイマーが画面に表示されます。



ステップにコメントを設定している場合は、ステップが始まる前にアラームが鳴り、コメントが表示されます。

コメントが表示されたときは、コメントにしたがった後、『』をタップして調理を継続してください。

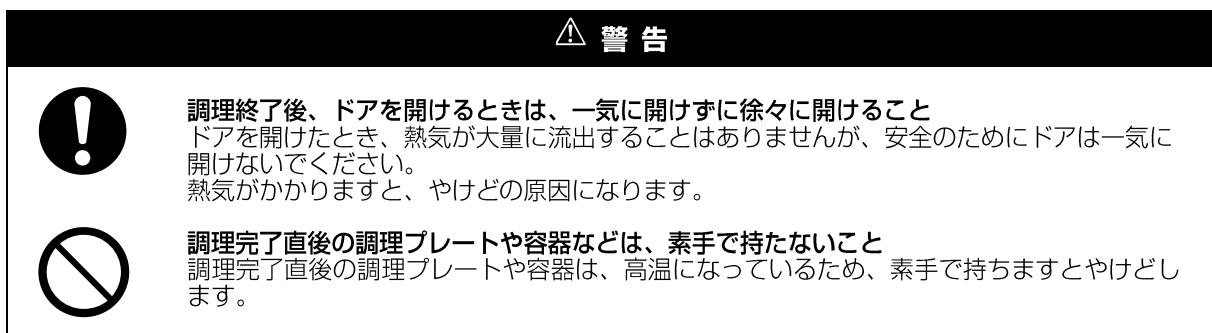


調理が完了するとアラームが鳴ります。

『』をタップしてアラームを止めてください。



4. ドアを開けて食材を取り出してください



「予熱」を使って庫内の予熱をおこなう（フルサーブモード）

調理をおこなう前に、予熱で庫内温度をレシピにあった温度にすることができます

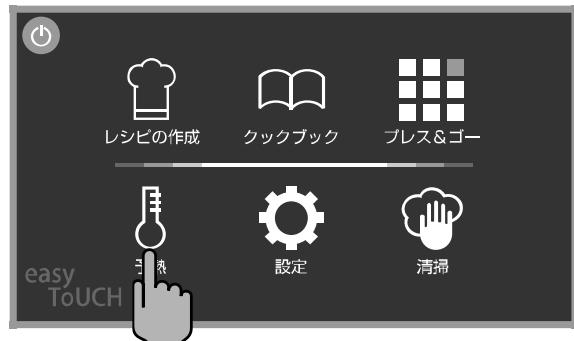
予熱は、あらかじめ本機に設定保存されている複数の温度から選択しておこないます

庫内の温度が、レシピの温度が合っていない場合は、そのレシピの操作を受け付けません

1. フルサーブモードの場合は、メイン画面の『予熱』をタップしてください

「予熱選択」画面が表示されます。

保存されている予熱一覧が表示されます。



2. 使用するレシピにあった予熱をタップしてください

庫内の予熱が開始されます。



庫内の温度が予熱の温度になるとメイン画面に切替わります。



メモ

工場出荷時、本機に設定保存されている予熱は「COOKING TEMP」275°Cと「Preheat_1」オフの2件です。

予熱は、合計6件まで設定保存することができます。

予熱を追加で設定保存する場合、または編集や削除をする場合は、「予熱設定」（38ページ）を参照してください。

「クイックサーブ」のレシピを使って調理(クイックサーブモード)

ここでは、「クイックサーブ」（「クックブック」と同じ）にあらかじめ保存されているレシピを使用して調理する方法について説明します

1. 本機のドアを開けて食材を庫内に入れてください

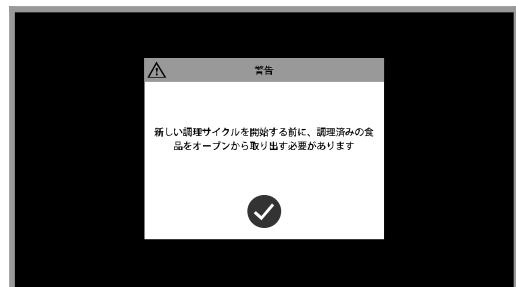
食材を入れた後、ドアをしっかりと閉めてください。

2. 使用するレシピをタップして調理を開始してください

画面は、指で上下方向にスクロールすることができます。



右のような画面が表示された場合は、庫内の食材の有無を確認してから調理を開始してください。



調理中は、右のようなカウントダウンタイマーが画面に表示されます。

メモ

ステップにコメントを設定している場合は、ステップが始まる前にアラームが鳴り、コメントが表示されます。

コメントが表示されたときは、コメントにしたがった後、『』をタップして調理を継続してください。



調理が完了するとアラームが鳴ります。

『』をタップしてアラームを止めてください。



3. ドアを開けて食材を取り出してください

⚠ 警告



調理終了後、ドアを開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること
ドアを開けたとき、熱気が大量に流出することはありませんが、安全のためにドアは一気に開けないでください。
熱気がかかりますと、やけどの原因になります。



調理完了直後の調理プレートや容器などは、素手で持たないこと
調理完了直後の調理プレートや容器は、高温になっているため、素手で持ちますとやけどします。

「プレス&ゴー」のレシピを使って調理（プレス&ゴーモード）

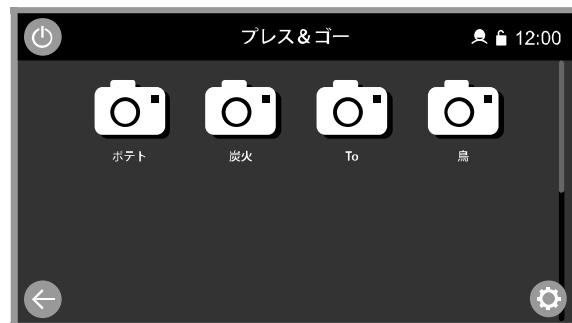
ここでは、「プレス&ゴー」（フルサーブモードの「プレス&ゴー」と同じ）にあらかじめ保存されているレシピを使用して調理する方法について説明します

1. 本機のドアを開けて食材を庫内に入れてください

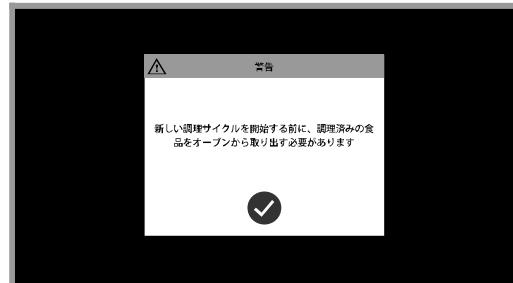
食材を入れた後、ドアをしっかりと閉めてください。

2. 使用するレシピをタップして調理を開始してください

画面は、指で上下方向にスクロールすることができます。



右のような画面が表示された場合は、庫内の食材の有無を確認してから調理を開始してください。



調理中は、右のようなカウントダウンタイマーが画面に表示されます。

メモ

ステップにコメントを設定している場合は、ステップが始まる前にアラームが鳴り、コメントが表示されます。

コメントが表示されたときは、コメントにしたがった後、『』をタップして調理を継続してください。



調理が完了するとアラームが鳴ります。

『』をタップしてアラームを止めてください。



3. ドアを開けて食材を取り出してください

⚠ 警告



調理終了後、ドアを開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること
ドアを開けたとき、熱気が大量に流出することはありませんが、安全のためにドアは一気に開けないでください。
熱気がかかりますと、やけどの原因になります。

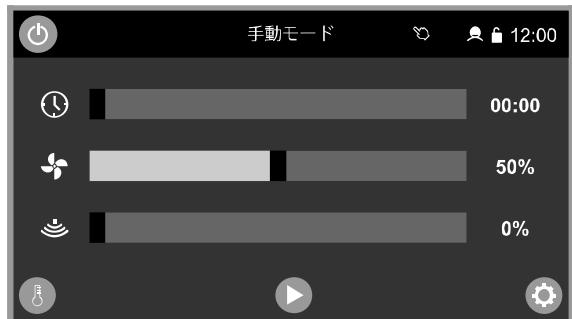


調理完了直後の調理プレートや容器などは、素手で持たないこと
調理完了直後の調理プレートや容器は、高温になっているため、素手で持ちますとやけどします。

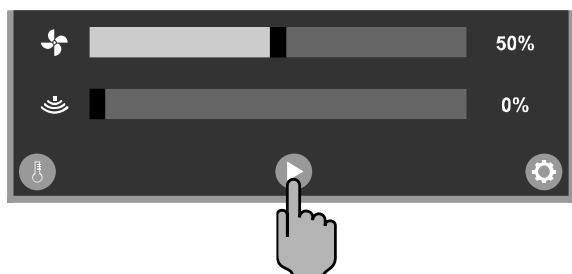
手動モードで調理

手動で「予熱温度」「調理時間」「ファン速度」「マイクロ波の量」を設定して調理をおこないます
手動モードで設定した内容は、「クックブック」や「プレス&ゴー」に保存することはできません
主に1回のみの調理しかおこなわない場合に便利です

1. 調理内容を設定してください



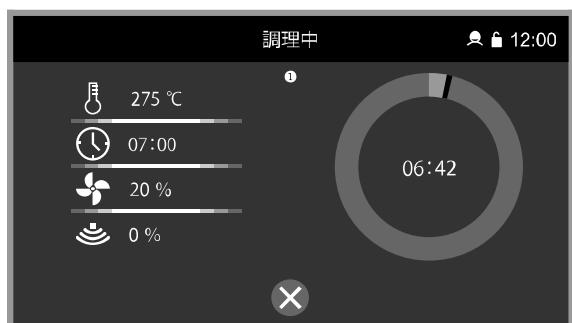
2. 【▶】をタップして調理を開始してください



右のような画面が表示された場合は、庫内の食材の有無を確認してから調理を開始してください。



調理中は、右のようなカウントダウンタイマーが画面に表示されます。



調理が完了するとアラームが鳴ります。

【✓】をタップしてアラームを止めてください。



3. ドアを開けて食材を取り出してください

⚠ 警告



調理終了後、ドアを開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること
ドアを開けたとき、熱気が大量に流出することはありませんが、安全のためにドアは一気に開けないでください。
熱気がかかりますと、やけどの原因になります。



調理完了直後の調理プレートや容器などは、素手で持たないこと
調理完了直後の調理プレートや容器は、高温になっているため、素手で持ちますとやけどします。

「クックブック」や「プレス&ゴー」に保存したレシピの編集

「クックブック」、または「プレス&ゴー」に保存されているレシピは、内容を編集することができます

「クックブック」と「プレス&ゴー」に同レシピが保存されている場合、どちらか一方を編集すると連動して内容が変更されます

メモ

ユーザー設定の「モード」で「ロックされました」がONになっていると編集の操作はできません。

1. 「クックブック」、または「プレス&ゴー」に入ってください

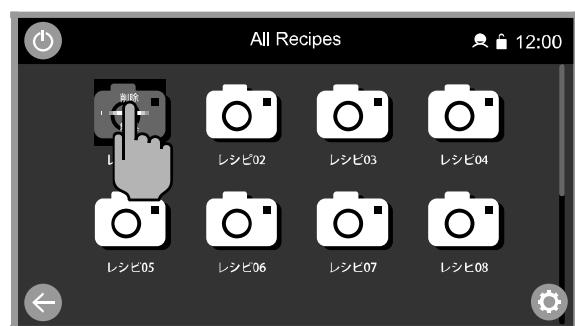
2. 編集したいレシピのアイコンを長押ししてください

アイコン上に「削除」と「編集」の文字が表示されます。



3. 「編集」の文字部分をタップしてください

レシピの編集画面が表示されます。



4. 内容の編集をおこなってください



5. 編集後は、『』をタップして保存作業をおこなってください。

「クックブック」や「プレス&ゴー」に保存したレシピの削除

「クックブック」、または「プレス&ゴー」に保存したレシピは、削除することができます

「クックブック」と「プレス&ゴー」に同レシピが保存した場合、「クックブック」側を削除すると連動して「プレス&ゴー」側も削除されます

「クックブック」と「プレス&ゴー」に同レシピが保存した場合、「プレス&ゴー」側を削除しても「プレス&ゴー」側は削除されません

メモ

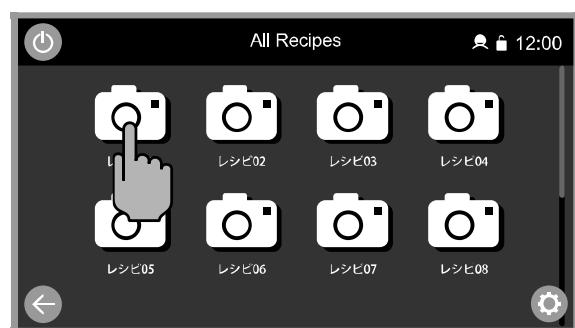
ユーザー設定の「モード」で「ロックされました」がONになっていると削除の操作はできません。

同様の方法で「クックブック」内のカテゴリーフォルダをフォルダごと削除することもできます。

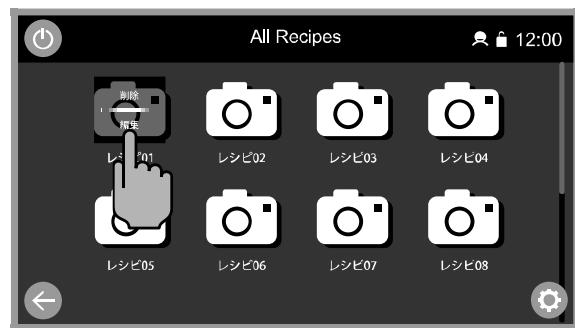
1. 「クックブック」、または「プレス&ゴー」に入ってください

2. 編集したいレシピのアイコンを長押ししてください

アイコン上に「削除」と「編集」の文字が表示されます。



3. 「削除」の文字部分をタップしてください レシピのアイコンが削除されます。



4. メイン画面に戻るには『◀』をタップしてください

ユーザー設定を変更する

ここでは、表示される言語や日時、表示単位、温度データの記録の設定などを変更するユーザーパラメーターについて説明します

ここでは、本機の各設定の変更方法について説明します

ユーザー設定画面を表示させる

『⚙』をタップしてください。

パスワード入力画面が表示されます。



起動時の画面



クイックサーブの画面

パスワードを入力して『✓』をタップしてください。

工場出荷時のパスワードは、「MANAGER」です。



ユーザー設定一覧画面が表示されます。



設定項目

設定項目	内容
バージョン情報	本機のシリアル番号などの情報
更新	ファームウェアの更新、USB メモリへのバックアップ
モード	メイン画面のモードの切替え
予熱	予熱の追加、または編集、削除
言語	言語の切替え
日付&時刻	日付と時刻設定
スケジューラー	庫内の加熱開始時間や、クールダウンの開始時間の設定
表示	画面の明るさや、スクリーンセーバーの設定
音	各アラーム音量の調整
メディアライブラリ	写真、画像データ、音データの管理 USB メモリからの写真、画像データ、音データの取り込みも可能
単位	単位の切替え（摂氏(°C) ←→ 華氏(°F)）
Statistics (統計)	本機の1日、または1週間、1ヶ月間の使用頻度、各レシピの使用回数を確認 各主要ユニットの稼働時間、ドアの開閉回数や清掃回数などの確認
パスワード	ユーザー設定画面に入るためのパスワードの変更
インターネット接続	WIFI、イーサネットなどへの接続設定
清掃	清掃機能を使ってお手入れする際、画面に表示される指示に、庫内に氷を入れて冷却する指示画面、庫内に「焦げ付き防止剤」を塗る指示画面、お手入れをした担当者の名前を入力する画面の追加表示させる設定
サービス設定	サービス設定画面に入ります。 使用しません。

ファームウェアの更新、アップデートと、各データのバックアップ

本機の各ファームウェアの更新、アップデートをおこなうことができます

お手持ちのUSBメモリを使用して、レシピのコピー（バックアップ）を取ったり、逆に本機内にインストールしたりすることができます

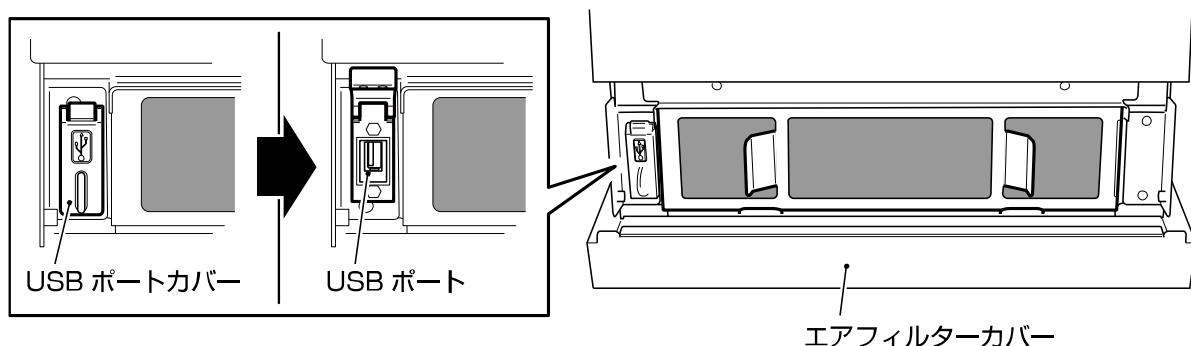
本機の設定をお手持ちのUSBメモリにコピー（バックアップ）を取ったり、逆に本機内にインストールしたりすることができます

イベントログや統計データをUSBメモリにコピー（バックアップ）を取ることができます

1. 本体前面下部にあるUSBポートに、お手持ちのUSBメモリを接続してください

エアフィルターカバーを開けた左側にUSBポートがあります。

USBポートカバーを開けて、USBメモリを接続してください。



2. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

3. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して 『✓』をタップしてください

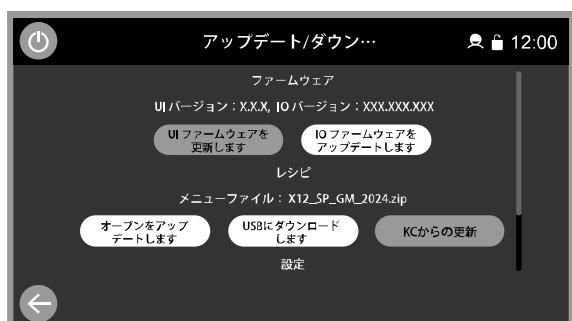
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

4. 『更新』をタップしてください

「アップデート/ダウン…」の画面が表示されます。



5. 操作をおこなってください

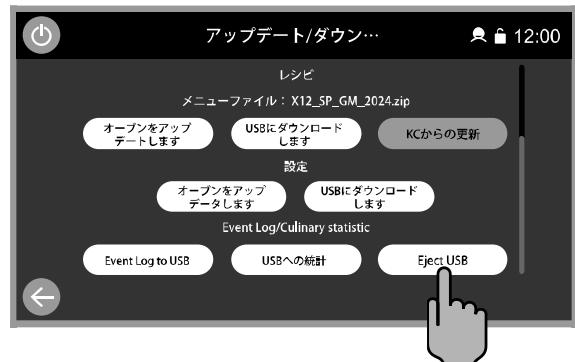


各項目は以下のとおりです。

項目	内容
ファームウェア	UIファームウェアを更新します サービスマンが使用する機能です。
	IOファームウェアをアップデートします サービスマンが使用する機能です。
レシピ（メニューファイル）	オープンをアップデートします USBメモリを使って、レシピをインストールします。
	USBにダウンロードします USBメモリに、レシピのコピー(バックアップ)を取ります。
	KCからの更新 Kitchen Connectを使用して、レシピなどをインストールする機能です。
設定	オープンをアップデートします USBメモリを使って、設定内容をインストールします。
	USBにダウンロードします USBメモリに、設定内容をコピー(バックアップ)します。
Event Log / Culinary statistic	Event log to USB USBメモリに、各イベントログデータをコピーします。
	USBへの統計 USBメモリに、各統計データをコピーします。
	Eject USB USBメモリを安全に取り外すことができます。 本機からUSBメモリを取り外すときは、この操作を実行してから取り外してください。 この操作をおこなわずに、USBメモリを取り外すと、データを破損する場合があります。

6. 作業が終わったら『Eject USB』を使ってUSBメモリを安全に取り外してください

USBポートカバーを閉じてください。
エアフィルターカバーを閉めてください。



7. 『⬅』でメイン画面に戻ってください

モードの切替え

メイン画面のモードで切替えることができます
工場出荷時のモードは、フルサーブモードになっています

1. 「⚙」をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して「✓」をタップしてください

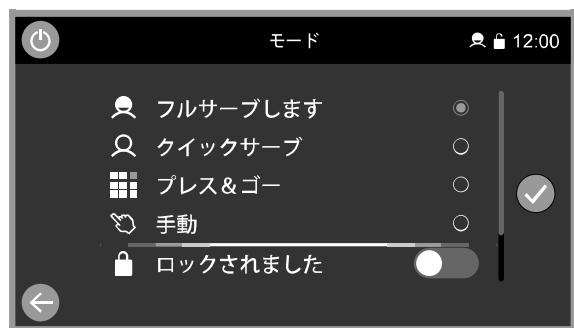
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 「モード」をタップしてください

「モード」の画面が表示されます。



4. お好みのモードに切替えてください



各モードは以下のとおりです。

モード	内容
フルサーブします	「レシピの作成」「クックブック」「プレス&ゴー」「予熱」「設定」「清掃」を使用することができます。 工場出荷時のモードは、「フルサーブします」(フルサーブモード)です。
クイックサーブ	メイン画面に、「クックブック」に保存されているレシピ、レシピのカテゴリーフォルダが表示されます。 「クックブック」に保存されているレシピ以外を使用しない場合に便利です。
プレス&ゴー	メイン画面に、「プレス&ゴー」に保存されているレシピが表示されます。 「プレス&ゴー」に保存されているレシピ以外を使用しない場合に便利です。

モード	内容
手動	メイン画面に、「調理時間」「風量」「マイクロ波の量」を設定枠が表示され、毎回調理をおこなうときに各設定をおこないます。設定した内容は、保存することはできません。
ロックされました	ON (OFF) にすると、「クイックサーブ」「プレス&ゴー」のメイン画面に『锁定』が表示されなくなります。 「クックブック」「クイックサーブ」「プレス&ゴー」に保存されているレシピの編集、削除ができなくなります。
省エネ	変更しないでください。
すべてのレシピを表示します	メイン画面に、本機に保存されているすべてのレシピが表示されます。

モードを選択した後、『』をタップして変更を確定してください。

変更しない場合は、『』をタップしてください。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

選択したモードの画面が表示されていることを確認してください。

予熱設定

予熱は、名前や温度を変更したり、追加保存、削除したりすることができます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

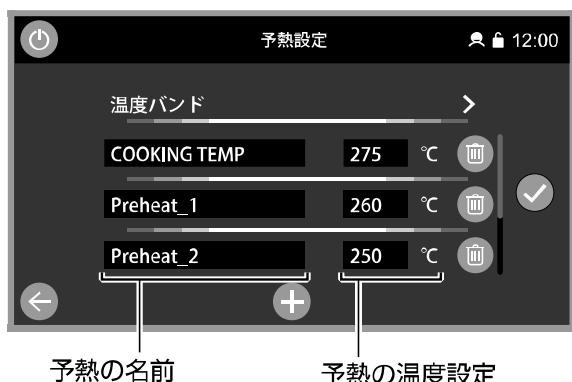
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 『予熱』をタップしてください

「予熱」の画面が表示されます。



4. 予熱の設定をおこなってください



設定項目は以下のとおりです。

設定項目	内容
温度バンド	使用しないでください。 初期設定：「40°C band」
予熱の名前	予熱に名前を設定することができます。 入力しなかった場合、自動で「Preheat_番号」が設定されます。
予熱の温度設定	お好みの温度を入力してください。 設置範囲：オフ、100 ~ 275°C

設定項目	内容
	予熱を追加保存することができます。 合計設定保存数：6件
	不要な予熱を削除することができます。

『』をタップして設定を保存してください。
変更しない場合は、『』をタップしてください。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

言語の切替え

画面に表示する言語を切替えることができます
工場出荷時の設定は、「日本」（日本語）になっています

お願い

日本語を使用する場合は、他の言語をタップしないでください。

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して 『✓』をタップしてください

ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 「言語」をタップしてください

「言語を選択します」の画面が表示されます。



他の言語をタップして、『✓』をタップすると、
画面に表示される言語が変更され、1つ前の画
面に戻ります。



変更しない場合は、『⬅』をタップしてください。

4. 『⬅』でメイン画面に戻ってください

日付と時刻の設定

現在の日付、または時刻の設定です

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 『日付&時刻』をタップしてください

「日付と時刻設定」の画面が表示されます。



4. 日時の設定をおこなってください



設定項目は以下のとおりです。

設定項目	内容
フォーマットを変更します	12時間、または24時間表示に切替えます。
タイムゾーン	本機がネットワークに接続されている状態で、本機を使用する国、または地域に設定すると、自動でその国や地域の日時に設定されます。

設定項目	内容
自動	 (OFF) : 「日時と時刻を変更します」の項目が表示されます。 手動で日時設定します。  (ON) : 本機をネットワークに接続している場合、自動で「タイムゾーン」で設定した国や地域の日時になります。

『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』をタップしてください。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

スケジューラーの設定（タイマー機能）

本機にはタイマー機能があり、庫内の加熱開始時間、またはクールダウンの開始時間を設定することができます

設定温度を「オフ」に設定すると電源がOFFの状態になります

例えば、お昼の営業と夜の営業との間に中休みなどがある場合に、この機能を使用すると便利です

スケジューラーの設定は、曜日毎におこないます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して 『✓』をタップしてください

ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 『スケジューラー』をタップしてください

「スケジューラー」の画面が表示されます。



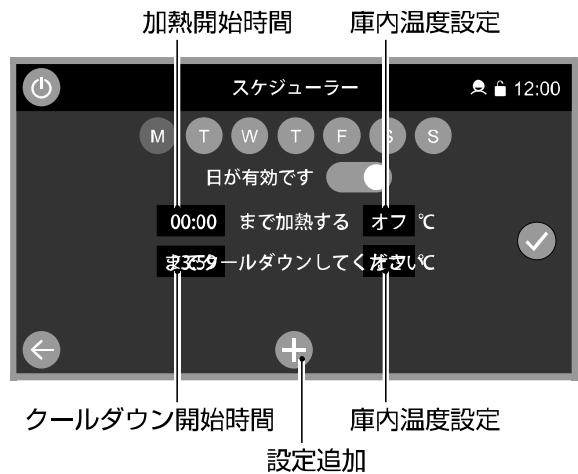
4. スケジュールを設定してください

スケジュールを設定する曜日をタップした後、

「➡」を『➡』に切替えてください。

設定項目が表示されます。





設定項目は以下のとおりです。

設定項目	内容
まで加熱する	庫内の加熱開始時刻 庫内の加熱の目標温度 1日の営業開始時に設定すると便利です。
までクールダウンしてください	庫内のクールダウン開始時間 庫内のクールダウンの目標温度「オフ*」 ※値を変更することはできません。 1日の営業終業時に設定すると便利です。
+	設定を追加することができます。 「まで加熱する」と「までクールダウンしてください」の間に追加されます。 1日の中休みがある場合、中休みに入るときにクールダウン、中休み終了のときに加熱を設定すると便利です。

『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』をタップしてください。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

表示の設定

画面の明るさを設定することができます

「ドアオープン」「調理完了」などの表示が点滅表示にすることができます

スクリーンセーバーの各設定をすることができます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

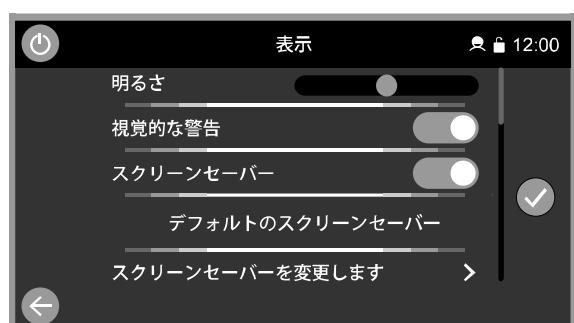
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 『表示』をタップしてください

「表示」の画面が表示されます。



4. 設定を変更してください



設定項目は以下のとおりです。

項目	内容
明るさ	画面の明るさの設定

項目	内容
視覚的な警告	警告を強調表示に変えることができます。 例えば、「ドアオープン」「調理完了」の表示が点滅表示になります。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーのON、またはOFFに切替えることができます。 <input checked="" type="checkbox"/> : スクリーンセーバー OFF <input type="checkbox"/> : スクリーンセーバー ON
スクリーンセーバーを 変更します	スクリーンセーバーの表示パターンを4種類から選択します。
時間	スクリーンセーバーが動作開始されるまでの時間設定です。 設定した時間何も操作をしないと、スクリーンセーバーが動作します。 設定可能範囲：01 ~ 20

『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』をタップしてください。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

音の設定

画面をタップしたときの操作音、各アラーム音の音量は調整することができます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

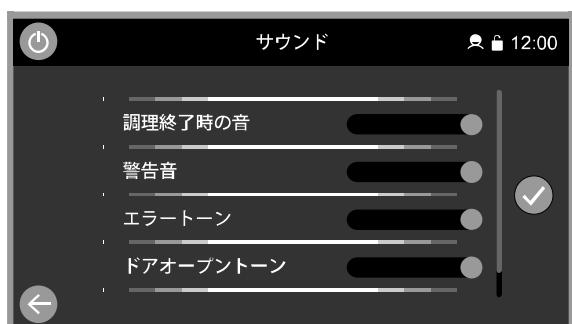
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 「音」をタップしてください

「音」の画面が表示されます。



4. 設定を変更してください



設定項目は以下のとおりです。

項目	内容
調理終了時の音	調理終了時に鳴るアラームの音量 目盛りのカーソルを左端にするとOFFになります。
警告音	警告（ポップアップ発生）時に鳴るアラームの音量 目盛りのカーソルを左端にするとOFFになります。

項目	内容
エラートーン	エラー発生時に鳴るアラームの音量 目盛りのカーソルを左端にするとOFFになります。
ドアオープントーン	調理開始時、調理中にドアが開いたときに鳴るアラームの音量 目盛りのカーソルを左端にするとOFFになります。
Screen touch tone	画面をタップしたときになる音の音量 目盛りのカーソルを左端にするとOFFになります。

『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』アイコンをタップすると、1つ前の表示に戻ります。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

メディアライブラリの設定

レシピのアイコンなどに貼付する写真や画像データを一覧で確認することができます
USBメモリなどを使って、オリジナルの写真や画像データを本機にインストールすることもできます
アラーム発生時やタッチパネル操作時に鳴る音データを一覧で確認することができます
USBメモリなどを使って、オリジナルの音データを本機にインストールすることもできます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

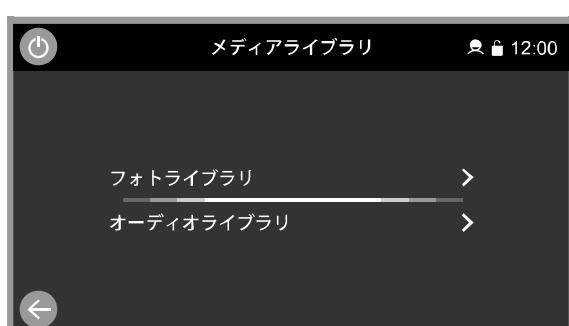
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 「メディアライブラリ」をタップしてください

「メディアライブラリ」の画面が表示されます。



4. 設定を変更してください



設定項目は以下のとおりです。

項目	内容
フォトライブラリ	写真や画像データの管理画面です。 フォトライブラリに保存されている写真や画像データは、レシピのアイコンに貼付することができます。 USBメモリを使って、写真、または画像データをインストールすることもできます。 使用可能データ形式 → JPEG形式

項目	内容
オーディオライブラリ	音データの管理画面です。 オーディオライブラリに保存されている音データは、エラー音、警告音などに割り当てることができます。 USBメモリを使って、音データをインストールすることもできます。 使用可能データ形式 → WAV形式

フォトライブラリ



本機のUSBポートに、USBメモリが挿し込まれている状態で『+』をタップするとUSBメモリ内に保存されている写真や画像データが表示されます。

USBメモリ内の写真、または画像データをインストールする場合は、インストールするデータをタップ（複数可）してから、『✓』をタップしてください。

データが、ライブラリにインストールされます。



オーディオライブラリ



本機のUSBポートに、USBメモリが挿し込まれている状態で『+』をタップするとUSBメモリ内に保存されている音データが表示されます。

USBメモリ内の音データをインストールする場合は、インストールするデータをタップ（複数可）してから、『✓』をタップしてください。

データが、ライブラリにインストールされます。



『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』アイコンをタップすると、1つ前の表示に戻ります。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

単位切替え

単位をメートル法（摂氏、グラム）、またはアメリカ単位（華氏、オンス）に切替えることができます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

ユーザー設定一覧画面が表示されます。

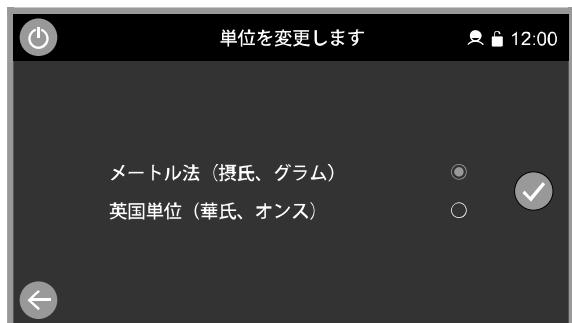
3. 『単位』をタップしてください

「単位」の画面が表示されます。



4. 単位を変更してください

使用する単位を選択してください。



『✓』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『←』アイコンをタップすると、1つ前の表示に戻ります。

5. 『←』でメイン画面に戻ってください

Statistics (統計)

本機の1日、または1週間、1ヶ月間の使用頻度、各レシピの使用回数を確認することができます
各主要ユニットの稼働時間、ドアの開閉回数や清掃回数なども確認することができます

1. 「」をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して「」をタップしてください

ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 「Statistics (統計)」をタップしてください

「Statistics (統計)」の画面が表示されます。

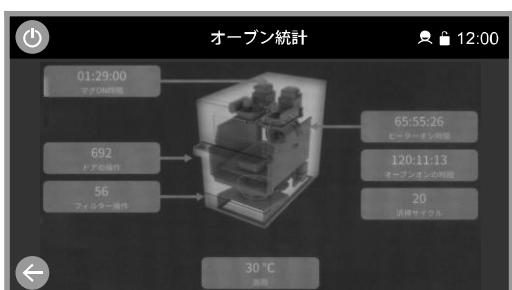


4. 統計を確認してください



オープン統計

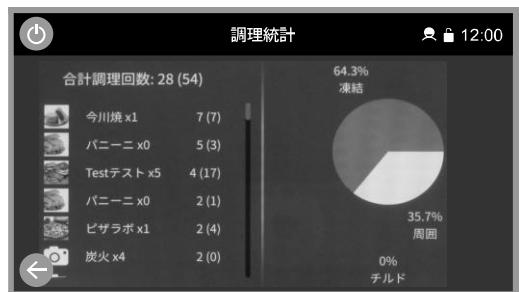
主要ユニットの稼働時間、ドア開閉回数、清掃回数、周囲温度などの確認画面



調理統計

各レシピの使用回数などの確認画面

() 内の数字 → 調理を途中で止めた回数



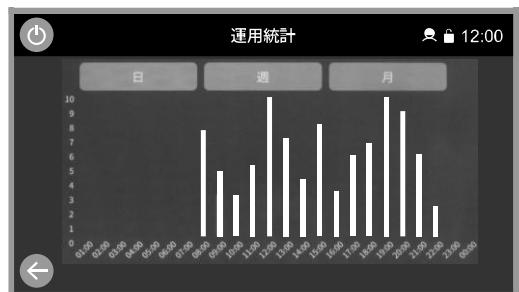
運用統計

「日」、または「週」、「月」の使用頻度の確認画面

「日」 → 本日分

「週」 → 7日分（本日分含む）

「月」 → 29日分（本日分含む）



5. 『◀』でメイン画面に戻ってください

パスワードの設定変更

ユーザー設定画面に入るためのパスワードを変えることができます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

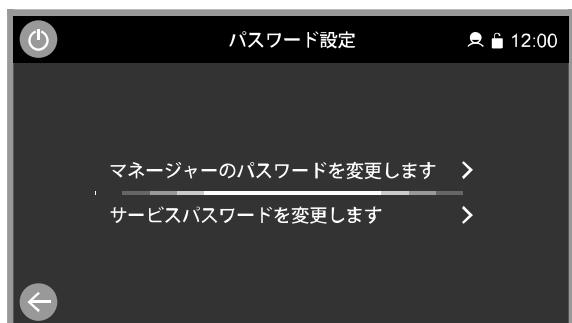
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 『パスワード』をタップしてください

「パスワード設定」の画面が表示されます。



4. パスワードを変更してください



設定項目は以下のとおりです。

項目	内容
マネージャーのパスワードを変更します	ユーザー設定画面に入るためのパスワードです。工場出荷時は、「MANAGER」が設定されています。
サービスパスワードを変更します	サービスマンが使用する「サービス設定」画面に入るためのパスワードです。変更しないでください。

「マネージャーのパスワードを変更します」をタップすると、入力画面が表示されます。お好みのパスワードを入力してください。

『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』アイコンをタップすると、1つ前の表示に戻ります。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

ネットワーク接続の設定

本機は、インターネット、イーサネットに接続することができます

インターネット、イーサネットに接続することで、メーカーのサイト「Kitchen Connect」に接続することができます

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して『✓』をタップしてください

ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 『インターネット接続』をタップしてください

「ネットワーク設定」の画面が表示されます。



4. 各設定をおこなってください



設定項目は以下のとおりです。

項目	内容
WiFi設定	本機をお客様のところで使用されていますWiFiを使ってインターネットに接続することができます。 WiFiが一覧表示されます。 接続するWiFiの名前をタップしてください。 WiFiのパスワード(接続キー)を入力して接続してください。

項目	内容
イーサネット設定	LANケーブルを使用して、本機を使用する設備のイーサネットに接続することができます。 LANケーブルは、本機背面上部にあるLANポート（黒色キャップ付）に接続してください。
Kitchen Connectの設定	メーカーのサイトを使用することができます。 メーカーのサイトから、新しいレシピ、レシピに貼付する画像や写真を入手することができます。 使用するには、「WIFI設定」または「イーサネット設定」で、本機がインターネットに接続されている状態にしてください。 初めて使用するときは、画面に表示されるQRコードをお客様のスマートフォンで読み込む、またはURLを使ってスマートフォンやパソコンで、メーカーのサイトにお使いのオーブンの情報を登録する必要があります。 ※メーカーのサイトは、日本語には対応していません。
Connectivity diagnostic	インターネットの接続状況を確認することができます。

『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』アイコンをタップすると、1つ前の表示に戻ります。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

画面右上にマークが表示されます。

清掃機能の作業指示画面表示の設定

清掃機能を使用し、画面に表示される指示に従って清掃すると、庫内や外装をひと通り清掃することができます

画面に表示される指示に、庫内に氷を入れて冷却する指示画面、庫内に「焦げ付き防止剤」を塗る指示画面、お手入れをした担当者の名前を入力する画面を追加表示させることができます

工場出荷時は、すべてOFFになっています

1. 『⚙』をタップしてください

パスワード入力画面が表示されます。

2. パスワード「MANAGER」(工場出荷時)を入力して 『✓』をタップしてください

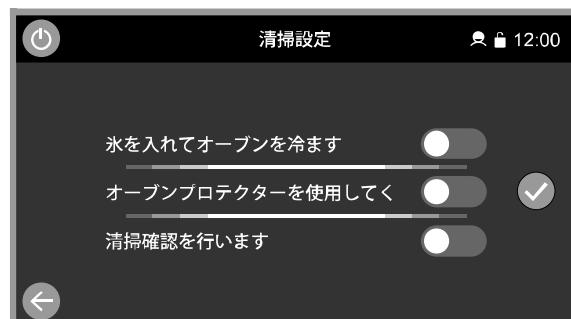
ユーザー設定一覧画面が表示されます。

3. 『清掃』をタップしてください

「清掃設定」の画面が表示されます。



4. 設定を変更してください



設定項目は以下のとおりです。

項目	内容
氷を入れてオープンを冷ます	ON (OFF) にすると、清掃機能を使用してお手入れをおこなった際、庫内に氷を入れて冷却する指示画面が表示されます。

項目	内容
オーブンプロテクターを使用してください	ON (■) にすると、清掃機能を使用してお手入れをおこなった際、庫内に「焦げ付き防止剤」を塗る指示画面が表示されます。
清掃確認を行います	ON (■) にすると、清掃機能を使用してお手入れをおこなった際、お手入れの終盤にお手入れをした担当者の名前を入力する画面が表示されます。

『』をタップすると、変更が確定されます。

変更しない場合は、『』アイコンをタップすると、1つ前の表示に戻ります。

5. 『』でメイン画面に戻ってください

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、必ず「お手入れ」をおこなってください。

⚠ 警告



本機に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



「オープンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」を取り扱うときは、ゴム手袋、保護メガネを着用すること
手にかかったりしますと、手荒れの原因になります。
目にに入った場合、目を傷める原因になります。

お願い

本機のお手入れをする洗浄剤は、必ず専用洗浄剤「オープンクリーナー」をご使用ください。

専用洗浄剤「オープンクリーナー」以外の洗浄剤を使用された場合、不具合や故障の原因になります。
専用洗浄剤「オープンクリーナー」以外を使用されて発生した不具合や故障は、保証対象外となりますのでご注意ください。

本機の庫内に塗るコーティング剤は、必ず専用の「焦げ付き防止剤」をご使用ください。

「焦げ付き防止剤」以外のコーティング剤を使用された場合、不具合や故障の原因になります。
「焦げ付き防止剤」以外のコーティング剤を使用されて発生した不具合や故障は、保証対象外となりますのでご注意ください。

「オープンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」を本機に直接スプレーしないでください。

漏電や故障の原因になります。

「オープンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」がなくなりましたら、お買い上げ店にご注文ください。

「オープンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」は、高温や直射日光を避け、なるべく冷所で保管してください。

「オープンクリーナー」や「焦げ付き防止剤」は、子供の手の届くところには、置かないでください。

次亜塩素酸を含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、錆の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水などを使用してお手入れをおこなう場合は、漬け置きしないでお手入れしてください。

お手入れ後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使い、入れすぎないようにしてください。

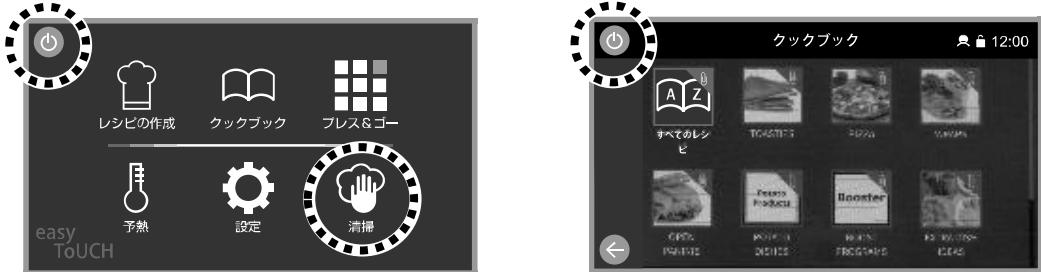
濃度が濃すぎると金属、プラスチック、樹脂の部品を損傷します。

洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

お手入れ

本機の清掃機能を使い、画面に表示される指示に従って清掃すると、庫内や外装をひと通り清掃することができます。

1. 『』または『清掃』をタップしてください



「オーブンを清掃します」画面が表示されます。

2. お手入れに使用する以下のものが揃っていることを確認してください

- 保護メガネ
- 保護手袋
- オーブンクリーナー
- 焦げ付き防止剤
- お手持ちのブラシ（やわらかいもの）



揃いましたら  をタップしてください。

庫内の温度が高い場合、「クールダウンします」画面が表示されます。

3. 庫内の冷却をおこなってください

庫内の温度が50°Cを超えている場合は、右のような画面が表示されます。



メモ

「氷を入れてオーブンを冷ます」をONにしている場合は、右のような画面が表示されます。

付属のクールダウンパンに氷を入れて、庫内にセットしてください。



『』をタップして、次の工程に移ってください。

庫内の冷却が開始されます。

冷却状況が表示されます。

庫内温度が50℃まで下がると「庫内を清掃します」画面が表示されます。



4. 画面の指示に従って庫内の清掃をおこなってください

お願い

お手入れをおこなうときは、保護メガネと保護手袋を着用しておいてください

目に入ったり、皮膚に付着したりしますと健康障害の原因になります。

庫内から調理プレートを取り出してください。



メモ

「氷を入れてオーブンを冷ます」をONにしている場合は、右のような画面が表示されます。

庫内からクールダウンパンと、調理プレートを取り出してください。



庫内に付着、またはこぼれている食材を取り除いてください。

お手持ちのブラシ（やわらかいもの）をご使用ください。

『』をタップして、次の工程に移ってください。



付属のオーブンクリーナーをお手持ちのスポンジなどに染み込ませて、庫内奥の壁、庫内両側面、庫内底面、ドアの内側をキレイに拭いてください。

お願い

庫内に直接、オーブンクリーナーや水などをかけないでください

ドアシールと庫内天井は、オーブンクリーナーで拭かないでください

故障の原因になります。



『』をタップして、次の工程に移ってください。

5～10分程待って、クリーナーの成分を染み込ませてください。

取り出した調理プレートは、洗剤を溶かしたお湯で洗浄してください。

『』をタップして、次の工程に移ってください。



キレイな布などに水を染み込ませて、庫内奥の壁、庫内両側面、庫内底面、ドアの内側に付着したクリーナーの成分をキレイに拭き取ってください。

お願い

庫内に直接、水をかけないでください

庫内天井は、水などで拭かないでください

故障の原因になります。



乾いたきれいな布で、庫内やドア内側に付着した水分をキレイに拭き取ってください。

『』をタップして、次の工程に移ってください。

メモ

「オーブンプロテクターを使用してください」をONにしている場合は、右のような画面が表示されます。

付属の焦げ付き防止剤をキレイな布に染み込ませて、庫内奥の壁、庫内両側面、庫内底面、ドアの内側に塗ってください。



お願い

庫内に直接、焦げ付き防止剤をかけないでください
庫内天井とドアシールには、焦げ付き防止剤を塗らないでください
故障の原因になります。

乾いたきれいな布で、ドアシールとその周辺を
キレイに拭き取ってください。

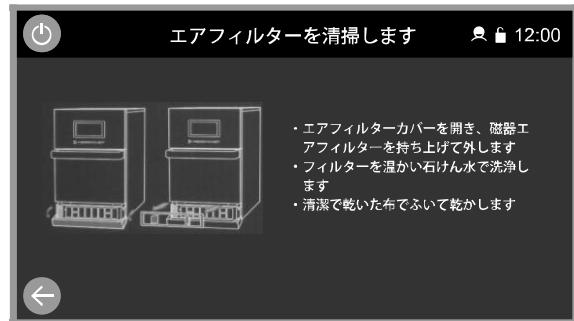
乾いたきれいな布で、調理プレートの水分を軽
く拭いてください。

調理プレートを庫内に元どおりセットしてくだ
さい。



『』をタップして、次の工程に移ってください。

5. エアフィルターを清掃してください



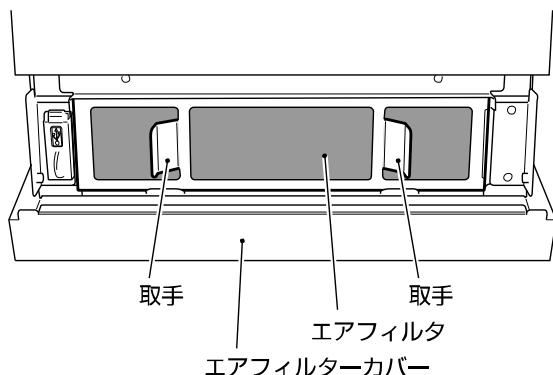
本機下部にあるエアフィルターカバーを開いて
ください。

エアフィルターを取り外してください。
エアフィルターは磁石で固定されていますの
で、2箇所の取手部分を持って、上の部分から
手前に引いて取り外してください。

エアフィルターは、洗剤を溶かしたお湯で洗浄
してください。

エアフィルターに付着した水分は、乾いたきれ
いな布などで拭き取ってください。

エアフィルターを本機に元どおり取り付けて、
エアフィルターカバーを閉めてください。



『』をタップして、次の工程に移ってください。

6. 画面の指示に従って電源をOFFにして、外装の清掃をおこなってください

『』をタップして、次の工程に移ってください。

本機の外装部分の清掃をおこなってください。

お願い

本機に直接、オープンクリーナーや水などをかけないでください

故障の原因になります。



『』をタップして、次の工程に移ってください。

本機の再起動が開始されます。



メモ

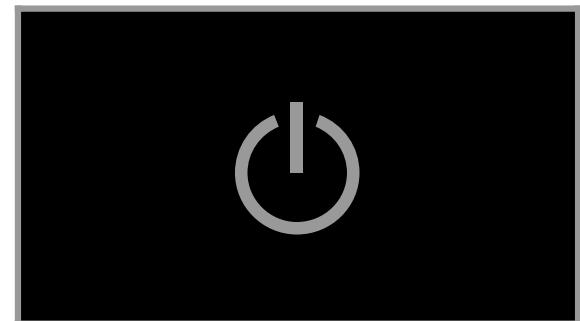
「清掃確認をおこないます」をONにしている場合は、右のような画面が表示されます。

お手入れを担当したかたのお名前を入力して、
『』をタップしてください。



シャットダウンがおこなわれた後、画面に「」が表示されます。

本機の清掃作業は終了です。



故障の診断と手当

故障かなと思ったら

故障かなと思われ修理を依頼する前に、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「処置」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機専用ブレーカも『OFF(切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

症状	確認 / 原因	処置
本機専用ブレーカを『ON(入)』にした後、タッチパネルに何も表示されない	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードが正しく接続されている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	本機専用ブレーカを『ON(入)』にした後、タッチパネルに表示ができるまで、16秒程度かかります。	タッチパネルに表示が出るまで待ってください。
一部のアイコンや機能が使用できない	ユーザー設定の問題	権限を持った使用者や管理者に連絡してください。
『▶』をタップしても調理を開始しない	調理時間が「00:00」になっていませんか？	調理時間を設定してください。
	現在の庫内温度と、レシピの設定温度に差異ありませんか？	温度に差異がある場合は、予熱をおこなって、庫内の温度をレシピの設定温度にあわせてください。
	本機のドアが開いていませんか？	ドアを閉めてください。
	ドアスイッチが破損していませんか？	お買上げ店へ連絡してください。
食材が正常に調理されない	庫内、またはフィルターが汚れていませんか？	本機のお手入れをおこなってください。
	食材の調理にあった調理温度、調理時間を設定していますか？	食材の調理にあった調理温度、調理時間を設定してください。
	間違ったレシピで調理をしませんでしたか？	食材の調理にあったレシピか確認してください。
	食材が包装された状態ではありませんか？	食材の包装は、取り除いて調理をおこなってください。
	調理完了のアラームが表示される前に、食材を取り出しませんでしたか？	調理完了のアラームが表示されるまで待ってください。

症状	確認 / 原因	処置
タッチパネルにアラームが表示されている	表示されているアラームの内容を確認してください。	アラームのメッセージに従って操作をおこなってください。
調理が完了しない	警告のメッセージが表示されていませんか？	警告のメッセージに従って操作をおこなってください。
	本機のドアが開いていませんか？	ドアを閉めてください。
	エアフィルターが正しく取り付けられていますか？	エアフィルターが取り付けられていない、または正しく取り付けられていらない場合は、正しく取り付け直してください。
	本機が過熱状態になつていませんか？	本機の通気口周辺に障害物が置かれて通気が悪くなっている場合は、障害物を取り除いてください。
調理中、タッチパネルの表示が消えた	—	お買上げ店へ連絡してください。
調理中、調理が停止し、タッチパネルの表示が消えた	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源コードが正しく接続されていますか？	電源コードが正しく接続されている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
本機から異常音がする	本機がグラついていませんか？	本機がグラついている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
庫内から異常音がする	庫内ファンの回転に異常はありませんか？	庫内ファンの回転に異常がある場合は、お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグ（電源プラグ使用の場合）が異常に熱くなる	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかつたりする	—	お買上げ店へ連絡してください。

据付けについて

ここでは、本機の据え付けについて説明します。

据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付場所

△ 注意



本機は、隣接面から後面（電気部品側）は50mm以上、左右側面は50mm以上離すこと
本機の上方は、100mm以上スペースを空けること

熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること
据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



火災報知器やスプリンクラーの下に本機を設置しないこと

本機から排気される、またはドアを開けた際に排出される熱気や蒸気で、火災報知機やスプリンクラーが作動する原因になります。

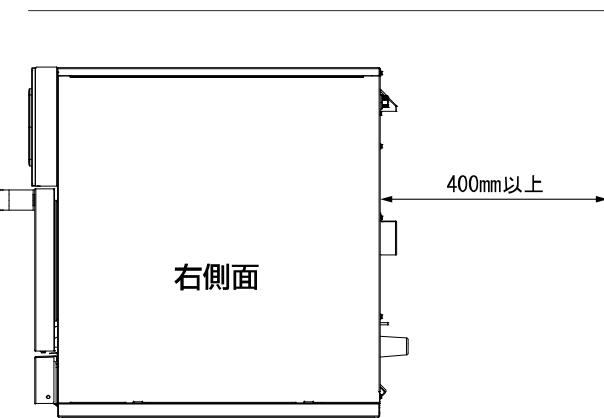
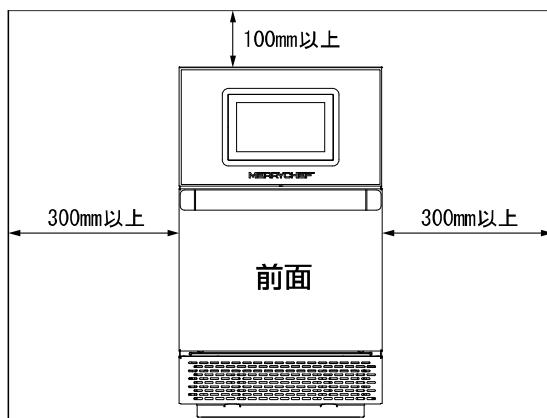
フード（ダクト）を設備していただくことをお勧めします。

本機の前は、タッチパネルの操作、ドアの開閉、食材の出し入れに支障がない十分なスペースを確保してください

本機は、隣接面から後面（電気部品側）は400mm以上、左右側面は300mm以上離してください

本機の上部は、高さ100mm以上のスペースを空けてください

本機の周囲は、修理などで人が後面側に回り込む際のスペースとして必要です。



メモ

メンテナンス時に本機を前方向などにずらして、メンテナンスのためのスペースが取れる場合、本機の後面および左右側面は50mm離してください。

直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が35°C以上になる高温の場所には据え付けないでください

高温になると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

フライヤー、グリルなど発熱する機械の熱源の近くには、据え付けないでください

他の機器類とは、適当な距離を空け、必要な空気の循環を確保してください。

高温になると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

近くに熱源がある場合は、対策が必要ですので、お買い上げ店にご相談ください。

火災報知器やスプリンクラーの下に本機を設置しないでください

本機から排気される、またはドアを開けた際に排出される熱気や蒸気で、火災報知機やスプリンクラーが作動する原因になります。

フード（ダクト）を設備していただくことをお勧めします。

振動のない所へ据え付けてください

電源

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること

アース線は、必ずアース端子に接続してください。

アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

電気容量

単相 200V	4.1KVA	20.5A
---------	--------	-------

本機の電源は、必ず本機専用の漏電遮断器付サーキットブレーカを設備してください

本機の据え付け場所に近いところで、操作しやすい位置に設備してください

電源コードの長さ：約2.5m

アース線を接続する端子を設けてください

アース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

据付け

本機の設置

⚠ 警 告



本機を持ち上げる作業は、2人以上でおこなうこと
本機が落下、転倒した場合、ケガの原因になります。
本機を破損させる原因にもなります。

本機を持ち上げるときは、本機の底部分をしっかり持つこと
本機が落下、転倒した場合、ケガの原因になります。
本機を破損させる原因にもなります。

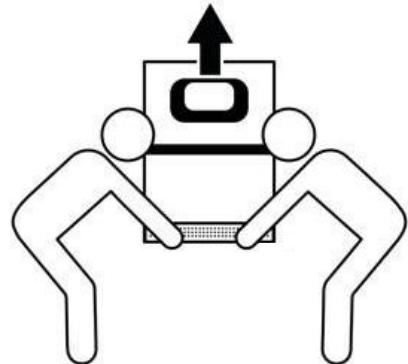


ドアやの取手を持たないこと
ドアが外れる恐れがあり、本機が落下、転倒した場合、ケガの原因になります。
本機を破損させる原因にもなります。
ドアが正常に閉まらなくなる原因にもなり、正常に閉まらない状態でマイクロ波の調理をおこなわれますと、マイクロ波の曝露の原因になります。

本機を上部で平らな台の上に水平になるように置いてください

お願い

本機を持ち上げる作業は、2人以上でおこなってください。
本機の底部分をしっかり持って所定の場所に置いてください。



電源とアースの配線

△ 警 告



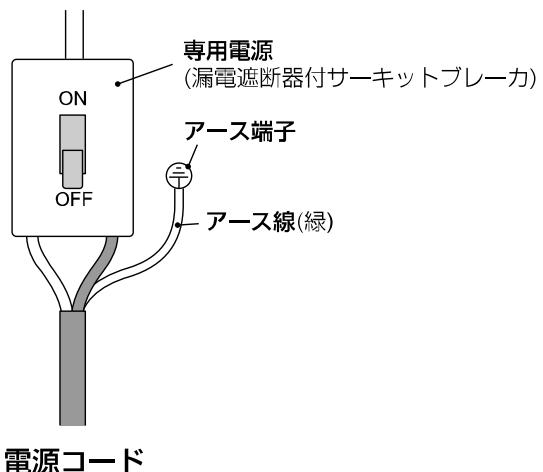
本機の電源コードを専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカもしくは、それと同等の設備に接続前に、漏電遮断機付きサーキットブレーカもしくは、それと同等の設備が『OFF(切)』になっているか確認すること

漏電遮断機付きサーキットブレーカもしくは、それと同等の設備が『ON(入)』の状態で、電源コードの接続作業をおこなった場合、感電する恐れがあります。

1. 電源コードを専用の漏電遮断器付サーキットブレーカ等に直接接続してください

お願い

電源コードを本機専用ブレーカ（漏電遮断器付サーキットブレーカ）に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。



2. アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください

仕様

品 名	マイクロウェーブコンビネーションオーブン [MerryChef]	
型 式	conneX 12SP (50Hz)	conneX 12SP (60Hz)
外 形 尺 法	幅 356・奥行 618・高さ 622mm (突起物を含む 奥行 707mm) (ドア開時 奥行 902mm)	幅 356・奥行 618・高さ 622mm (突起物を含む 奥行 707mm) (ドア開時 奥行 902mm)
電 源	単相 200V 50Hz	単相 200V 60Hz
電 流	20.5A	20.5A
消 費 電 力	4kW	4kW
電 気 容 量	4.1kVA	
熱風ヒーター出力	2.2kW	
定格高周波出力	1.0kW	
発 信 周 波 数	2450MHz	
調理時間設定範囲	1秒～10分 (00:01～10:00)	
温度設定範囲	100～275°C	
マイクロウェーブ 設 定 範 囲	0 (OFF)、5～100%	
材 質	本 体	ステンレス
	ド ア	ステンレス
	庫内ファン	ステンレス
質 量	52kg	
庫 内 尺 法	幅 312・奥行 330・高さ 170mm	
電 源 コ ド (長さ、径)	60245TEC 68(YCW) 3心 外径Φ2.5 長さ2.5m	
動作周囲温度	< 35°C	
騒 音 レ ベ ル	< 65dB	
最 大 積 重 数	1段	
安 全 装 置	扉インターロックシステム、電流モニター、マグネットロン温度過昇防止、庫内温度過昇防止	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

調理プレート	1枚
クールダウンパン	1個
ソリッドバスケット	1個
ガードパドル	1個
クッキングライナー	1枚
スプレーヤー	2本
オープニングクリーナー	1本
焦げ付き防止剤	1本
保護メガネ	1個
保護手袋	1セット
取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1部

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ず記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

調理プレート	クールダウンパン	ソリッドバスケット
ガードパドル	クッキングライナー	オープンクリーナー
焦げ付き防止剤	保護メガネ	保護手袋
スプレーヤー	ドアシール	エアフィルター

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただいております。

株式会社エフ・エム・アイ

東京:〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪:〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌:〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台:〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋:〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島:〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡:〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸:〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄:〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛岡:〒020-0124 盛岡市扇川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国:〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島:〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場:〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

conneX12 202511 PA